

令和3年生駒市教育委員会

第7回定例会 議案

令和3年7月26日

生駒市教育委員会



## 令和3年生駒市教育委員会(第7回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第11号	令和3年度幼稚園・保育園訪問の結果について	1
報告第12号	令和3年度小学校・中学校訪問の結果について	7
議案第27号	令和4年度使用中学校教科用図書採択について	21



報告第11号

令和3年度幼稚園・保育園訪問の結果について

令和3年度幼稚園・保育園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、別紙のとおり報告する。

令和3年7月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

## ＜令和3年度定期幼稚園・保育園訪問報告＞

### 1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園経営が推進できるよう支援する。

### 2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者
桜ヶ丘幼稚園	5/31 9:00～	原井教育長・伊藤委員・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
俵口幼稚園	5/31 10:30～	原井教育長・伊藤委員・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
小平尾保育園	5/31 13:30～	原井教育長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
なばた幼稚園	6/8 9:00～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・川田指導主事・松本指導主事
壺分幼稚園	6/8 10:30～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・川田指導主事・松本指導主事
中保育園	6/8 9:00～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
ひがし保育園	6/8 10:30～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
生駒台幼稚園	6/16 9:00～	原井教育長・伊藤委員・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
あすか野幼稚園	6/16 10:30～	原井教育長・伊藤委員・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
南こども園	6/30 9:00～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
認定こども園 生駒幼稚園	6/30 10:30～	原井教育長・伊藤委員・奥田部長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事

### 3 園からの説明の概要

#### <幼稚園>

桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児が徒歩通園である利点を活かし、写真掲示や保護者に話をする「さくらっこトーク」を行い、保護者との連携を深めている。</li> <li>・「体力作り」「食育活動」の2本柱を中心に3年間を見通した教育課程を編成している。長年にわたり、地域の方や外部講師の力を借りながらの活動が持続しており、体力リーダー、食育リーダーのもと年間計画をたて活動をすすめている。剣道やヨガ、大豆からのきな粉作りなど感性を豊かにする体験を積んでいる。</li> <li>・今年度より1学年1クラスの小規模園になり、以前に増して職員間で力を合わせ、学年間の連携を深めながら進めている。</li> <li>・コロナ禍だからこそ、職員同士の交流を大切にし子どもの育ちをつなげていけるよう幼小の接続に取り組んでいきたい。</li> </ul>
俵口幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職が1名での園運営になるので、いろいろな立場の働き方にとらわれず、お互い助け合い全員で協力して運営している。</li> <li>・新しい生活様式の中、遊びを学びにつなげていけるよう計画して取り組んでいる。幼小接続では日常的な些細な出来事を積み重ね、職員同士が足を運びあってコロナ禍でできる事に取り組んでいる。</li> <li>・ツイッターの掲載、学年だよりの発行など情報の発信に努めているが、職員数が少ないので職員の負担が大きくなるのが現実である。</li> <li>・今年度は支援を要する園児が多く、全職員で情報を共有しながらそれぞれに応じた支援ができるよう努めている。</li> <li>・預かり保育については、各家庭の事情に応じて時間を考え利用される方が多く、職員でローテーションを組んで対応している。</li> <li>・幼稚園の再編について、不安に思われている保護者が多い。未就園児の保護者にも安心していただけるよう情報発信をしていきたい。</li> </ul>
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職は園長1人で、いろいろな立場の人がいる職員体制である。全学年各1クラスでの運営のため、行事や避難練習など状況に応じた動きができるようにそれぞれの役割を日々意識している。</li> <li>・幼稚園教育の見える化に努め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を遊びの写真と照らし合わせながら伝え、具体的に何が育っているかを発信する機会をもっている。</li> <li>・昨年の経験をいかし、コロナ禍での豊かな体験を工夫している。</li> <li>・教育内容の情報発信に努め、特にツイッターでは日常生活を発信するように心がけている。担任もホームページやツイッター更新に積極的にかかわってくれている。</li> <li>・地域の方の協力が大きく、いろいろな行事で支えていただき園を応援してくださっている。幼稚園再編については、未就園児の方が不安をもたないよう、園としてできる発信をしていきたい。</li> </ul>

<p>壱分幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の幼小接続事業のモデルとしてすすめてきたこれまでの取組を土台に、学びを大切にした子どもの育ちをつなぐ教育実践を進めていきたい。</li> <li>・友達と考えたり工夫したりする活動、試行錯誤やできた喜びが味わえる活動などが遊びの中で展開できるよう、研修時間の捻出に努め保育内容の充実を図っている。</li> <li>・地域の方がとても協力的で、特にやまびこネットワークのつながりで園を支えてくださっている。雨あがりの公園で遊びやすいようにと土を入れてくださり、子ども達から感謝の手紙を渡した。また生駒高校との交流も続いており、互惠性のある活動を進めている。</li> <li>・支援を要する園児が多く、職員全体で情報共有し一人一人に応じた支援を全職員でおこなえるよう体制作りをしている。</li> <li>・昨年の夏休み預かり保育モデル事業の情報を他園と共有し、体制づくりをすすめていきたい。</li> </ul>
<p>生駒台幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6クラス139名と市内公立幼稚園の中では一番規模が大きく、預かり保育を利用する園児も非常に多い。学年間の連携を深め、遊びを学びに意識し、3年間の発達を見通した教育活動を行っている。</li> <li>・昨年から取り組んでいる「わくわく体操」は子ども達も楽しみにしており、季節に応じた内容を計画し、1日の活動源になっている。他にもこどもヨガやタグラグビーなど様々な活動を行っている。</li> <li>・1園1校で歴史があり地域のつながりが強い。みなさんが協力的で様々な活動に参加してくださる。地域に園だよりを回覧している。</li> <li>・新しい生活様式の中で、できる事を探りながら活動を工夫している。幼小の接続もできる事を探り、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・iPadを活用し、支援を要する幼児については動画を保護者に見せながら成長や課題を共有している。研修でも動画を利用して意見を出しあい、職員の資質向上につなげている。</li> <li>・保護者への情報発信として写真掲示、学年だよりに加え、今年は特にツイッターに力を入れている。</li> </ul>
<p>あすか野幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園児が多く75%の園児が通園バスを利用している。保護者と顔をあわせる機会が少ない為、日々電話で積極的に連絡をとり、写真入の学年だよりやツイッターの更新などタイムリーな情報発信に努め信頼関係を深めている。</li> <li>・職員一人一人の意識が高く、それぞれの良さをいかしながらチームワークよく保育をすすめている。</li> <li>・地域とのつながりが強く長年にわたり支えがある。ビデオレターなどを利用し、コロナ禍での活動を工夫して取り組みを進めている。</li> <li>・体操教室やキッズダンスの講師の先生方に来ていただくことで、専門的な目線でアドバイスを受け、職員も刺激を受けている。</li> <li>・生駒大好きな子どもになってほしいと願い、その一つとして「竹」で楽器作りをし演奏をして楽しんだ。ふろーらむでの演奏や竹林園訪問にもつながり、生駒市を知る良い機会になった。</li> <li>・幼小接続は積極的に行っている。今年度は主幹先生が園に出向いてくださっている。</li> </ul>



南 こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園6年目となり、幼稚園180名、保育園120名であった定員が昨年度、幼100名、保200名に変更となった。在籍も幼83名、保160名と逆転してきている。こども園への理解も深まり、各家庭に合った利用が明確になってきている。</li> <li>・南小学校へ入学する子どもが多く、コロナ禍での工夫を行いながら、年間3回の交流は必ず実施している。今年度も7月に南小運動場での交流を計画している。</li> <li>・園に足を運んでもらう機会はコロナ禍で減っているが、学年だよりや園児の様子を伝える手紙を定期的に情報発信するなど、地域に根ざした園運営を目指している。地域の方からも季節ごとに絵手紙や折り紙が届くなど、温かな支援、理解が広がっている。</li> <li>・安心、安全な環境の下、園児が主体的に「やってみたい」などと心が動き、学びへと繋がる環境や援助方法を工夫しながら、教育保育に取り組んでいる。</li> </ul>
認定こども園 生駒幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒幼稚園は幼稚園型のこども園であるという意識をもちながら、1号と2号の比率の変化に対応し、職員の意識改革や体制づくりに取り組んでいる。</li> <li>・遊びの重要性を共通理解し日々の活動におけるねらいを視覚化することで、全職員で協力しながら遊びを学びにつなげる教育内容を実践している。実践にあたり、職員が研修できる時間を捻出し、全体で資質向上していくことを目指したい。</li> <li>・職員33名がいろいろな立場で働いているので、意思疎通ができるようにし、一人一人が責任感をもって力を発揮してほしい。</li> <li>・協働活動が出来ることを考え、地域や保護者の協力を得られるよう活動の工夫をし、地域の力を活かした保育内容の充実をめざす。コロナ禍でもできる範囲で、絵本ママやおやじの会などがボランティアで活動を進めてくださっている。</li> <li>・情報発信では単なる出来事だけを伝えるのではなく、子どもの育ちが伝わるようにしていく。</li> </ul>

< 保育園 >

中 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より3歳児クラスが1つ増え、定員も255名となった。現在在籍は238名、生駒駅近くの立地から入園希望者が多い。</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりとりながら、体操教室・サッカー、ラグビー教室を定期的に取り入れ、健康な体づくりの推進に取り組んでいる。</li> <li>・地域に根ざした園を目指し、現在コロナ禍で縮小はしているが、地元の高齢者との世代間交流（東寿会・寿大学）や東新町児童公園の清掃を園児とともにやっている。</li> <li>・職員の資質向上のため、昨年度より年3回、自己評価チェックリストを利用した自己の振り返りを行っている。</li> </ul>
---------	--

ひがし保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に造形・美術教育全国大会での公開保育園となったことから学びを深め、継続して感性、感覚を育てる表現活動に力を入れている。</li> <li>・個別配慮を要する園児が大変多い。療育につながないボーダーラインの園児について、地域支援制度を利用、県リハビリセンター職員に来所してもらい、アドバイスをいただいている。</li> <li>・5 歳児参加の市制 50 周年記念制作にあたり、職員手作りの紙芝居を使い、生駒市への理解を深めた上で取り組む工夫を行った。</li> <li>・小規模保育所 5 園の連携園となっていることから、スムーズな接続を目指し、入園前に園児の様子を見て、話を聞けるよう、連携施設に足を運ぶ機会をもつことにした。</li> </ul>
小平尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の願いから開設して 48 年、人権を大切にした保育の実践とともに、職員の人権グループワークにも取り組んでいる。</li> <li>・コロナ禍で参観の機会が減っていることから、園児の様子を動画撮影し、みてもらう機会をもつ等、情報提供を工夫している。</li> <li>・昨年度より家庭に図書館司書や担任が選んだ絵本を持ち帰り、リレー形式で読んでもらう「リレーうちどく」にも力を入れている。保護者にも好評で、アンケートからうれしい言葉も聞かれている。</li> <li>・医療ケアが必要な園児が在籍、今年度から市内療育施設との並行保育となった。個別の支援計画や指導計画も立て、保護者や関係機関と連携を密にしながら、保育を進めている。</li> </ul>

報告第12号

令和3年度小学校・中学校訪問の結果について

令和3年度小学校・中学校訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、別紙のとおり報告する。

令和3年7月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

## ＜令和3年度定期学校訪問報告＞

### 1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

### 2 小学校

#### ①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒小学校	6/11	角田管理主事、原井教育長、飯島委員、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、前田課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
生駒南小学校	7/1	原井教育長、飯島委員、伊藤委員、山本課長、前田課長、日高課長補佐、小泉指導主事、中田指導主事
生駒北小学校	5/10	原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、伊藤委員、古島委員、奥田部長、前田課長、花山課長補佐、佐藤指導主事、中田指導主事
生駒台小学校	6/18	原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、レイノルズ委員、伊藤委員、古島委員、奥田部長、山本課長、前田課長、花山課長補佐、駒井指導主事、中田指導主事
生駒東小学校	6/29	原井教育長、伊藤委員、奥田部長、花山課長補佐、日高課長補佐、小泉指導主事、中田指導主事
真弓小学校	5/25	原井教育長、伊藤委員、奥田部長、前田課長、花山課長補佐、駒井指導主事、中田指導主事
俵口小学校	6/23	神澤委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、前田課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
鹿ノ台小学校	5/18	角田管理主事、原井教育長、伊藤委員、奥田部長、山本課長、前田課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
桜ヶ丘小学校	6/25	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、花山課長補佐、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
あすか野小学校	5/25	原井教育長、伊藤委員、奥田部長、前田課長、花山課長補佐、駒井指導主事、中田指導主事
壺分小学校	6/1	角田管理主事、原井教育長、伊藤委員、花山課長補佐、日高課長補佐、佐藤指導主事、中田指導主事
生駒南第二小学校	7/1	原井教育長、飯島委員、伊藤委員、山本課長、前田課長、日高課長補佐、小泉指導主事、中田指導主事

②ヒアリング内容

<p>生駒小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40 年来変わっていない学校目標「すくすく」を基に、教師で今の児童の実態や課題を出し合うことで学校目標を設定した。</li> <li>・ 廊下歩行について課題が挙げられている。全教職員による統一した指導ができるようにする。挨拶については教職員から率先して挨拶をしたい。</li> <li>・ 基礎学力の定着を図るためにも金曜日にタブレットを持ち帰り e ライブラリで課題に取り組ませている。</li> <li>・ 書画カメラを各教室に設置。授業の質を上げる。</li> <li>・ 教職員のスキルアップのために、積極的に他の先生の授業を参観できる週を設けたり、自主研修会を不定期に開催したりしている。</li> <li>・ 特別な支援を要する児童が多く在籍しているが、担任とコーディネーター、特別支援学級の担任、通級指導教室担当者がうまく連携をとって支援をしている。</li> <li>・ 人権教育の推進のため、違いを認めお互いを尊重できるように取組を進めている。地域の人に目を向けていけるような取組もしたい。</li> <li>・ 体力の向上のために、環境を整えたり、全児童に体力テストを実施したりしている。委員会を中心とした運動大会も開催予定。</li> <li>・ 現状のカリキュラムの中で、1 年間かけて地域と繋がる方法を模索中。</li> <li>・ 郵便局や近鉄百貨店など、校区にある施設とも連携を深める。</li> <li>・ 生駒小学校保幼小連携連絡会を設置。接続カリキュラムを作成予定。</li> <li>・ 終礼の回数を減らす、職員会議の時間厳守等、職員の働き方改革も進めている。風通しの良い職場環境を目指している。</li> </ul>
<p>生駒南小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配慮を要する児童・家庭への支援を関係機関（サポートセンター・放課後デイサービスなど）と連携して行っている。</li> <li>・ 職員の心身の健康維持と職場環境の改善を図り、働き方改革を進めている。仕事上の悩みなどを相談できる人間関係を大切に、悩みを一人で抱え込まないようにサポート体制を整えている。</li> <li>・ 国語科を中心に研修を進めている。特に、今年度は「書く力」を中心に、主体的に表現する態度を育成する指導の在り方を検討する。</li> <li>・ 部会での活動を中心に、チームとして連携・協働する組織づくりを意識し、個ではなく組織として情報交換を密にし、様々な課題と向き合いたい。</li> <li>・ 今年から南中と合同で学校運営協議会を立ち上げた。課題を共有しながら地域学校協働本部（小学校単独）と連携しながら地域との活動を充実させたい。</li> <li>・ 保護者、家庭の問題が子どもにも影響を与えている。配慮を要する児童・家庭への支援を大切にしたい。</li> <li>・ 「みなみのやくそく」を見直した。「成長」「協力」「責任」の 3 つの柱で児童自らが考え行動する指標としたい。</li> </ul>

生駒北小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育6年目に入り、その特色を生かした指導体制の確立と進化のために取り組んでいる。乗り入れ授業など、小・中教員間で連携協力している。</li> <li>・伝統文化に触れる機会を6年間を通して設け、地域の特色である茶筌づくりや茶道体験を地域の協力を得ながら行っている。</li> <li>・高山地区などの地域と共に支え合う学校づくりを推進するため、その基盤として、「家族」のように共に学び、成長する教職員集団を心掛けている。</li> </ul>
生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を抱え支援を必要としている児童が多く、児童を取り巻く家庭へのサポートも必要。校内での支援体制を整え、関係機関との連携も密にしているが、SC（スクールカウンセラー）や相談窓口の充実がさらに求められる。</li> <li>・職員構成において、20代と50代、60代の教員が多く、30代、40代の教員が少ない二極化の中、OJTにより、若手教員の育成が急務。</li> <li>・学校が伝統的に引き継いできたことの見直しの時期が来ており、ねらいや意義を踏まえた上で、検討を進める。</li> <li>・地域は、児童見守り活動に熱心に取り組んでもらっているが、高齢化・後継者不足が課題となっており、地域学校協働活動本部としての整備を進めていく。</li> </ul>
生駒東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性教員が多く、職員構成も半数が50代以上であり、若手教員やミドルリーダーの育成が課題である。</li> <li>・重点目標を3部会で協議し、具体的な改善方法を随時講じつつ、その成果についてアンケートや情報を活用して、自己評価を行っている。</li> <li>・不登校児童への対応として、校内に不登校対応教室を設けている。昨年度放課後登校をしていた児童が設置後登校し、リモート授業を受けられるようになった。</li> <li>・職員には小さなことでも報告するように伝え、また、管理職から声をかけることにも努めながら、情報共有、また教員が孤立しないように配慮している。</li> <li>・50%の職員が月45時間以上の時間外勤務をしている状況なので、時短意識を高めていくことが今後の課題である。</li> </ul>
真弓小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で情報交流を行う時間をもつことができている。</li> <li>・ICT機器に触れる時間を設定し、高学年では自由にパソコンを使っている。</li> <li>・各学年にICTに詳しい教員を1名ずつ配置する人事を行い機器の活用を図っている。</li> <li>・たくましい子を育てたいと考えている。</li> <li>・縦割り活動で外遊びを取り入れている。また、学級遊びをしているクラスも多くあり、子どもたちに運動する機会を多くもたせている。</li> <li>・コロナ禍において集会活動はオンラインを活用している。</li> <li>・規範意識に対して厳しく指導しているが、保護者にも啓発を行い理解していただいている。</li> <li>・子どもたちの登下校の安全に対して保護者の意識も高くなり、登下校時の保護者の見守りも増えてきた。</li> <li>・4年前に比べて児童数が80名ほど増えている。</li> <li>・課題は学校の活性化であり、開かれた学校を目指すことや積極的な情報発信を進めたいと考えている。</li> </ul>

俵口小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの学校では少ない 40 代の職員が 8 名。</li> <li>・不登校児童が 4 名。</li> <li>・多動の児童、こだわりの強い児童が多く在籍。保護者と連携を取りながら対応をしている。支援員、相談員、ボランティアを積極的に活用。</li> <li>・学校運営協議会では、子どもの安心、コミュニケーションの課題に向けて取り組んでいくことを確認した。</li> <li>・校長が巡回をし、気づいたことを共有。職員と管理職の壁を感じさせないように細やかな声掛けを実施。相談しやすい雰囲気づくりを心がける。</li> <li>・年 360 時間以上の超過勤務の教職員が半数以上いる。</li> <li>・部会や学年の主任をミドルリーダーとして 30～40 代の職員を充てる。ベテラン勢はサポーターとして補佐に回ってもらっている。</li> <li>・グランドデザインの 3 観点をもとに 3 部会を組織。目指す児童像の実現に向かって計画し、取り組んでいる。</li> </ul>
鹿ノ台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に高学年の規範意識を高め、学校全体の雰囲気を良いものにしたい。</li> <li>・性同一性障害の児童の対応、オンラインでの不登校支援など、校内での支援内容を考えている。</li> <li>・ICT エバンジェリストとともに、タブレット端末を活用した取り組みについて研修を深めている。</li> <li>・クロックアウト時刻が無かったため、設定した。今後は定時退勤日を設定したい。</li> <li>・6 学年中 4 学年が転動してきた先生で学年主任を担当している。来年度に向けて職員構成をしっかりと考えていきたい。</li> <li>・地域は非常に協力的である。鹿中と連携して学校運営協議会を進めていきたい。</li> </ul>
桜ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接校選択制により、児童の数が増えている。元気いっぱい、縦割り活動にも積極的に取り組む児童がたくさんいる半面、集団生活になじめない児童もいる。長欠の児童は少ないが、保健室や校長室など別室登校している児童が複数名いる。</li> <li>・教職員は始業前の非常に早い時間から出勤し、授業研究や ICT 活用に対しても積極的に取り組んでいる。トラブルもあるが、一つ一つ丁寧に対応にあたっている。その分、教職員の超過勤務が課題である。今後働きやすい職場を目指し、仕事の合理化を進めて勤務時間の短縮を図る必要がある。</li> <li>・中学校との連携にも力を入れ、教科担任制や、校務分掌の取組など、中学校の良いところを取り入れていきたい。</li> <li>・コミュニティスクールは今年度スタートだが、長年地域に見守られ支えられている。そのことを感じられる教師集団、学校になり、今後の地域学校協働活動へと発展させていきたい。</li> </ul>
あすか野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に入りづらい児童のために、子どもの居場所づくりを支援員と連携をとって進めている。</li> <li>・地域との協働により、環境や安全への配慮を積極的に行っている。</li> <li>・職員も多く、中でも若い教師が特に多いが、情報を密に取りながら、学校全体で資質と指導力の向上に向けて取り組んでいる。</li> <li>・一人一人が力を発揮できるように、学級・学校が安心して安全に過ごせるようにしたい。</li> <li>・学年会等で各学級の情報を密に交流している。</li> <li>・課題をしっかりと把握し、学校運営協議会を運営していきたい。</li> <li>・昨年度はコロナ禍でできなかったことが多かったので、今年度はできる範囲で体験的な学習を積極的に取り入れたい。</li> </ul>

壱分小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の年齢構成もバランス良く配置していただいている。</li> <li>・ 不登校児童が増加しているため、学校でも児童の居場所づくりを進めている。</li> <li>・ 不登校児童への対応については、専科教員などを配置している。</li> <li>・ アンガーマネジメントを取り入れ、他者とのつながりを大切にできる児童の育成を図っている。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、会議などは部屋を分けてオンラインを活用し、分散して行っている。</li> <li>・ 課題として、若手教員の増加、ベテラン教員の減少による指導力の低下が挙げられ、若手育成のために指導力の向上を図っている。</li> <li>・ 昨年度に引き続き、地域学校協働活動や学校運営協議会の取組の活用を進めたい。</li> <li>・ 多く在籍する支援学級児童の対応のため、特別支援教育支援員などをできるだけ配置してもらいたい。</li> <li>・ 講師の退職により、欠員が出ているので、早急に講師の配置を求めている。</li> </ul>
生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校で職員の絶対数が少なく、一人当たりの仕事量が多い。勤務時間も超過しがちである。また、職員の男女比が7:11で、男性職員が少ない。</li> <li>・ ほとんどの学年が単学級であり、児童や保護者間でトラブルがあっても、クラス替えによる解消ができないなど、生徒指導上の弊害がある。</li> <li>・ コロナ禍において新しい生活習慣の定着と心理面への影響を心配している。</li> <li>・ チーム二小として、人権教育を中心とした研修の充実や職員間の報連相の徹底を図っている。</li> <li>・ 今年度は、市教委とも連携を取り、「二小未来創造プログラム」の推進を図っていききたい。</li> <li>・ 地域の方も協力的に学校にかかわってくださり、毎週水曜日には、ボランティアで校内の消毒作業を行ってくださる。</li> <li>・ 給食リフトが経年劣化で反応が悪い。改善してほしい。</li> <li>・ 放課後学びタイム等を活用し、基礎基本の定着を図っている。また授業のユニバーサルデザイン化を図り、全ての児童が分かったと思える授業づくりを進めている。</li> </ul>

### ③前年度と今年度の重点目標

	R 3 重点目標	R 2 重点目標
生駒小学校	①自ら学び、ともに考え合える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成 ④生駒を愛する子の育成	①自ら学び考える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成



生駒南小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①確かな学力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着と充実</li> <li>・自ら学ぶ態度の育成</li> </ul> </li> <li>②豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の向上</li> <li>・異年齢交流活動の充実</li> </ul> </li> <li>③健やかな体の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上</li> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> </ul> </li> <li>④その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携・協働</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「健やかな体」の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「G n P（体幹を鍛える取組）」の充実・発展、体力向上の取組</li> </ul> </li> <li>②「豊かな心」の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の向上、思いやりの心の育成、あいさつ運動の実施</li> </ul> </li> <li>③「確かな学力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着と充実、コミュニケーション能力の育成</li> </ul> </li> </ul>
生駒北小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・確かな学力</li> </ul> </li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶釜の里としての地域性を生かす</li> </ul> </li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育力の活用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・確かな学力</li> </ul> </li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶釜の里としての地域性を生かす</li> </ul> </li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育力の活用</li> </ul> </li> </ul>
生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもが輝く学校</li> <li>②挑戦する学校</li> <li>③信頼される学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもが輝く学校</li> <li>②挑戦する学校</li> <li>③信頼される学校</li> </ul>
生駒東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あたたかい学校・学級づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間に対するあたたかい気持ちを育む</li> </ul> </li> <li>②体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる</li> </ul> </li> <li>③言語活動を通して、学び合う授業の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち表現できる子を育てる</li> </ul> </li> <li>④安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の安全を守る意識と行動力を身に付けさせる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あたたかい学校・学級づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間に対するあたたかい気持ちを育む</li> </ul> </li> <li>②体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる</li> </ul> </li> <li>③言語活動を通して、学び合う授業の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち表現できる子を育てる</li> </ul> </li> <li>④安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の安全を守る意識と行動力を身に付けさせる</li> </ul> </li> </ul>
真弓小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人とのかかわりを大切にする</li> <li>②あたたかい心を育む</li> <li>③考える力の育成</li> <li>④体力づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人とのかかわりを大切にする</li> <li>②体力づくりの推進</li> <li>③あたたかい心を育む</li> <li>④考える力の育成</li> </ul>

俵口小学校	①考えをみがく ②心をみがく ③仲間とみがく	①考えをみがく ②心をみがく ③仲間とみがく
鹿ノ台小学校	①規範意識の向上 ・進んで挨拶をする。 ・約束やきまり、マナーやエチケットを守る。 ・清掃や整理整頓に真面目に取り組む。 ②主体的対話的で深い学びの推進 ・自分の考えを説明する力を身に付け、他の人と関わりながら学ぶ。 ・タブレット端末を活用した教育を推進する。 ・地域と協働し、子どもの学びを支える。 ・読書に親しみ、感性を磨く。	①基本的生活習慣の確立 ・学校生活の一日の姿勢を整える ・心豊かな子どもの育成 ②基礎学力の定着 ・学びの姿勢を整える ～学習規律の確立～ ・家庭生活の姿勢を整える
桜ヶ丘小学校	夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 - 自立と共生 - ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成	夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 - 自立と共生 - 「笑顔いっぱいの学校・学級づくり」をめざして ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成
あすか野小学校	①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着	①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着
壱分小学校	①学力向上の推進 主体的に、自分の思いや考えを伝え合う力の育成 ②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成 ③仲間づくり、集団づくりの推進 自分も他の人も大切にできる子どもの育成 ④体力向上の推進 楽しみながら運動に親しむ態度の育成	①学力向上の推進 主体的に、自分の思いや考えを伝え合う力の育成 ②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成 ③仲間づくり、集団づくりの推進 自分も他の人も大切にできる子どもの育成 ④体力向上の推進 楽しみながら運動に親しむ態度の育成

生 駒 南 第 二 小 学 校	①あいさつをする。 ②心の居場所づくり ③すすんではたらく ④生きて働く知識・技能を高める ⑤ICTの活用や体験を通じて深く学 ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす	①あいさつをする ②なかまづくり ③すすんではたらく ④読み書き計算の力を高める ⑤体験を通して深く学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす
--------------------------------------	--	--

### 3 中学校

#### ①訪問日時並びに訪問者

生駒中学校	6/23	神澤委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、前田課長、日高補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
生駒南中学校	6/21	原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、伊藤委員、古島委員、山本課長、前田課長、花山課長補佐、小泉指導主事、中田指導主事
生駒北中学校	5/10	原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、伊藤委員、古島委員、奥田部長、前田課長、花山課長補佐、佐藤指導主事、中田指導主事
緑ヶ丘中学校	6/11	角田管理主事、原井教育長、飯島委員、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、前田課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
鹿ノ台中学校	5/18	角田管理主事、原井教育長、伊藤委員、奥田部長、山本課長、前田課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
上中学校	5/13	角田管理主事、原井教育長、神澤委員、坪井委員、伊藤委員、奥田部長、花山課長補佐、日高課長補佐、佐藤指導主事、小泉指導主事、尾崎えり子
光明中学校	5/13	角田管理主事、原井教育長、神澤委員、坪井委員、伊藤委員、奥田部長、花山課長補佐、日高課長補佐、佐藤指導主事、小泉指導主事、尾崎えり子
大瀬中学校	6/1	角田管理主事、原井教育長、伊藤委員、花山課長補佐、日高課長補佐、佐藤指導主事、中田指導主事

#### ②ヒアリング内容

生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全・安心を第一に考えている。教職員の危機管理意識の向上を徹底し、情報共有できるシステムづくりをしている。</li> <li>・不登校傾向の生徒に向けて、学校はもちろん、学校外でもいいので家以外に居場所を作れるよう、外部機関にも繋がれるように支援している。外部機関と生徒が繋がれたら、その機関と学校がしっかりと連携できるよう、すすめている。</li> <li>・授業づくりに熱心な教員が多い。ICTの活用も大切だが、生徒の心に響く授業、声掛けができるよう心掛けている。生徒も学習意欲が高く、朝学習の時間も落ち着いて取り組んでいる。</li> <li>・令和4年度から制服を変更する。男女ともにブレザーで、スラックスかスカートを選ぶことができるようになる。家庭の経済的負担も考慮し、3年間は現在の制服を使用しても良いこととする予定。</li> <li>・教職員は40代が非常に少ない。</li> <li>・学校運営協議会は学校が主体、地域学校協働活動は地域が主体となって進められるように取り組んでいく。</li> </ul>
-------	--

生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任、特別支援学級担任が全員 35 歳以下であり、中堅教諭の少なさが目立っている。特に今年度は男性教員が 3 人抜けて、女性教員が 3 人入ってきた。女性だけの学年もあり、男女バランスに偏りがある。</li> <li>・再任用の先生が教務。分掌の分担が困難。若い先生方が中心になり、仕事と責任を持ってもらう意味で学年主任を置かず、学年代表としている。</li> <li>・地域の方々は学校教育活動に理解、協力をしてくださっている。今まであった南中コミュニティ会議を母体に、学校運営協議会を小中合同で設置。協働本部は中学校単独。</li> <li>・アンケート調査分析により、自己有用感が生駒市の平均よりも大幅に低い結果が出ている。一方で「学校の先生は良いところを認めてくれますか」と言う質問に対する結果は高い。他人からは評価されているが、自分では自己有用感が低い。この結果は何を意味するのか分析中。</li> <li>・学校運営協議会からは、南中は部活数が少なく、部活を通して自己有用感を高めていく取組が足りないのではないかと、という意見もあった。自己有用感と学力との関係性にも注目して分析を進めていきたい。</li> <li>・要対協の家庭も多く、経済的に苦しい家庭も多い。人権意識をしっかりと高めて、学校と家庭が協力して教育活動を行っている。</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育 6 年目に入り、その特色を生かした指導体制の確立と進化のために取り組んでいる。乗り入れ授業など、小・中教員間で連携協力している。</li> <li>・中 2（国数理英美技家）および中 3（英数美）において少人数指導を実施し、きめ細やかな指導に力を入れている。</li> <li>・高山地区などの地域と共に支え合う学校づくりを推進するため、その基盤として、「家族」のように共に学び、成長する教職員集団を心掛けている。</li> </ul>
緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理意識の向上、情報共有体制の確立に力を入れている。</li> <li>・生徒らが安全安心に学校生活を送れるよう、情報教育や命の大切さについての研修などを行っている。</li> <li>・近年、不登校生が多い傾向があり、オンライン教育も進められるように検討している。今年度に関しては、新 1 年生は不登校生徒がゼロであり、頑張っ学校生活を送ってくれている。</li> <li>・ICTの扱いに関して、教員の中でも格差があるが、研修を重ねている。</li> <li>・40 代の教員が少なく、20 代、30 代へのスキルの継承が急務である。</li> <li>・時間外勤務が多く、年休を取得できていない教員もたくさんいる。今年度は、改善できるよう声掛けをしていきたい。</li> <li>・学校の部活動にない競技の大会参加要望が多く、その対応が困難である。</li> </ul>

鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一小一中の学校区で、生徒たちは仲間の中で安心感があり、自分の個を出しやすい。学習面だけでなく、行事や掲示物などから、生徒たちの能力の高さに感心している。しかし、行事が例年通りには進められない中、個の能力を発揮させる場が減っているのが現実。子どもたちが主体的に取り組める活動を充実させていきたい。自尊感情を高めるためにも、一人ひとりが生き生きと輝いている学校を目指している。</li> <li>・地域との結びつきが強い。さまざまな形で地域の方に協力いただいたり、見守っていただいている。地域課題としては、地域の高齢化と高齢化に伴う防災面の不安があり、地域の中で活躍できる中学生を育てたい。鹿ノ台小学校と一緒に学校運営協議会を活用し、地域に根差し地域に信頼される学校づくりを進めている。</li> <li>・一人一台端末の活用がなかなか進んでいなかったが、出席停止の生徒のために授業をオンラインでライブ配信するなど、少しずつ進めている。</li> <li>・教職員は講師の比率が非常に高い。今後リーダーとなっていく人材を育てなければならない。</li> </ul>
上中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の年齢構成では 50 代の割合が高い。後 5 年もするとベテラン層がほとんど抜けていく。20 代 30 代に責任あるポジションにつかせ、ベテランがフォローする体制を作っている。</li> <li>・生徒は与えられた課題に懸命に取り組む力は非常に高い。しかし、自ら課題を考え立ち向かうことは苦手な生徒が多い。今後の社会を生きる力をつけていくことが大事。</li> <li>・地域に関われた学校づくりのため、昨年から学校運営協議会を立ち上げている。放課後学習会、花いっぱい活動、教育活動サポーターなどの活動を計画しているが、コロナで見通しは不透明。</li> <li>・今後は、ICTと学校運営協議会をうまく活用し、eライブラリも駆使しながら、学力の心配な子どもに対する取組などを進めたい。</li> <li>・自分の目指す進路と成績とのギャップでしんどくなり、学校に行きにくくなる生徒が多い。成績だけにとらわれることなく、自分の将来を見据えた進路選択、キャリア教育をしていく必要を感じている。子どもたちが分かりやすい授業、子どもたちが満足する授業を先生方には意識して行っていくように伝えている。</li> </ul>
光明中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の通級指導教室を校内に設置し、特別支援教育の推進と充実に向けた取組を進める。</li> <li>・学校力向上WG(ワーキンググループ)を設置し、全学校教育活動の点検と見直し、教職員の学校運営参画意識の深化・発展に努めている。</li> <li>・校内に不登校生徒が登校できる教室「あかり」を設置し、教員が個別の指導にあたっている。一方で、特別支援学級の生徒の授業への入り込みも併せて、教員一人当たりの時間数も増加していることは課題のひとつ。来年度は7名の特別支援学級の生徒が入学してくる可能性がある。準備を進めたい。</li> <li>・学校長の職員向けの通信『初心』を発行し、教師として大切だと考えることを伝えている。自分の「家族」を第一に、自分の心身の健康を大切に、スーパーティーチャーはこの学校には必要ない、チームで学校運営をしている、など教師に伝えている。</li> <li>・毎週金曜日に保護者向けのメール配信を行い、日々の学校の様子や校長の思い、今週の配布物等を知らせている。</li> <li>・ICTの活用を積極的に進めている。</li> <li>・学校運営協議会を設置し、地域との連携を小・中と協力して行っていきたい。コロナもあり、まだ具体的には動いていないのが現状。</li> <li>・コロナをチャンスに。今しかできないキャリア教育を尾崎さんの協力を得ながら行っていきたい。</li> </ul>

大瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の危機管理意識の向上に力を入れている。熱中症事故から5年たち、職員の入替わりも多い。この5年間取り組んできたことを振り返りつつ、今後の危機管理意識の向上により一層力を入れていく。</li> <li>・ 不登校傾向の生徒が増加傾向にある。教育相談と生徒指導の一体化した指導体制づくりを意識している。</li> <li>・ 生徒だけでなく教職員も含め、あらゆる教育活動の場面において、「学ぶ姿勢」を大切にしている。</li> <li>・ 学校運営協議会のメンバーを検討しなおしつつ、情報発信をしっかりとしながら地域との連携を深めていく。</li> </ul>
-------	--

### ③前年度と今年度の重点目標

	R 3 重点目標	R 2 重点目標
生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「わかった」生徒の声が弾む授業実践</li> <li>②豊かな人間性を育み、明るく健やかな生き方を深める指導</li> <li>③生命を大切にする心や人権を尊重する人権教育の充実</li> </ul>
生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①わかる授業の構築</li> <li>②地域・保護者に信頼される学校づくりの推進</li> <li>③豊かな人間性（心）の育成</li> <li>④積極的・開発的な生徒指導の推進（いじめ、教育活動等）</li> <li>⑤その他の課題 清掃活動 健康作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域、保護者に信頼される学校づくりの推進</li> <li>②人権尊重の精神、豊かな人間性（心）の育成</li> <li>③積極的、開発的な生徒指導の推進。（いじめ対応・教育相談）</li> <li>④わかる授業の構築（生徒が安心できる空間をつくる）</li> <li>⑤たくましい心身の育成</li> <li>⑥美しい環境づくりの推進</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</li> <li>・ 小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・ 確かな学力</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実</li> <li>・ 茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</li> <li>・ 地域教育力の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</li> <li>・ 小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・ 確かな学力</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実</li> <li>・ 茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</li> <li>・ 地域教育力の活用</li> </ul>

緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>
鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「主体的・対話的で深い学び」の推進</li> <li>②ICTを活用した授業づくり（主体的な学びの実現に向けた授業研究の推進）</li> <li>③生徒の自尊感情の醸成</li> <li>④環境教育の推進（スーパーエコスクール）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「主体的・対話的で深い学び」の推進</li> <li>②主体的な学びの実現に向けた授業研究の推進</li> <li>③道徳教育の推進</li> <li>④環境教育の推進（エコスクール）</li> </ul>
上中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る</li> <li>②人権教育の充実 仲間を尊重する仲間づくり、心が通い合うあいさつの推進</li> <li>③地域に開かれた学校づくり 地域で育つ・地域に生きる子どもたちの意識を変える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る</li> <li>②人権教育の充実 仲間を尊重する仲間づくり、心が通い合うあいさつの推進</li> <li>③地域に開かれた学校づくり 地域で育つ・地域に生きる子どもたちの意識を変える</li> </ul>
光明中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人と人とのつながりを大切にする生徒の育成</li> <li>②「わかる感動、発見できる喜び」に触れる授業等をとおして、豊かな知識だけでなく、自主的、自発的に学習する生徒の育成。</li> <li>③研ぎ澄まされた人権感覚・人権意識の育成、生命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など「豊かな心」の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人と人とのつながりを大切にする生徒の育成</li> <li>②「わかる感動、発見できる喜び」に触れる授業等をとおして、豊かな知識だけでなく、自主的、自発的に学習する生徒の育成。</li> <li>③研ぎ澄まされた人権感覚・人権意識の育成、生命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など「豊かな心」の育成</li> </ul>
大瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>



議案第 27 号

令和 4 年度使用中学校教科用図書採択について

令和 4 年度使用中学校教科用図書採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 21 条第 6 号及び生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 9 号の規定により、別紙のとおり提出する。

令和 3 年 7 月 26 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

## 令和4年度使用中学校教科用図書採択について（案）

令和4年度使用中学校教科用図書のうち、社会（歴史的分野）について、令和元年度に検定審査不合格とされた発行者が、教科用図書検定規則に基づき、翌年度に行われた再申請により、令和2年度に文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることとなったことから、生駒市教育委員会としての方針を定めるものである。

- 1 令和3年度においては、原則、令和2年度と同一の教科書を採択しなければならない。
- 2 社会（歴史的分野）についての採択について

令和3年3月30日付2初教科67号の文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「令和4年度使用教科書の採択事務処理について」において、新たに発行されることとなった教科書がある社会（歴史的分野）については、無償措置法施行規則第6条第3号により採択替えを行うことも可能であること、採択替えを行うか否かは、採択権者の判断によるべきものとされている。

### 【令和4年度使用中学校教科用図書】

教科	種目	発行者の番号・略称
社会	歴史	2 東京書籍

上記が採択している教科書であるが、奈良県教育委員会が作成する「選定資料」のほか、令和2年度における採択の理由や検討の経緯及び内容等を踏まえ、生駒市教育委員会としては、社会（歴史的分野）における採択替えを「行わない」ととする。

